



りゅうおう

議会だより

No.141

2007.10.15

RYUOH

編集発行●滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713



第3回（8月）定例会

● 主な記事 ●

条例改正・専決処分・ 平成19年度補正予算	2～ 3
一般質問	4～ 8
こんな質問もしました	8～ 9
委員会報告	10～11
議会傍聴記、編集後記	12
特別差込み・第14期議員の紹介	

平成19年第三回定例会は8月17日から8月31日までの日程で開催されました。
主な議題は条例改正、専決処分、一般会計、特別会計補正予算などでした。

条例改正 専決処分
一般会計補正など

平成十九年 第三回定例会

9

月定例会

条例改正・補正予算・水道決算他

条例改正

◎竜王町心身障害児福祉年金支給条例の一部改正（専決処分）
療育手帳の障害程度表記の変更によるもの。
平成19年4月1日から適用された。

（全員賛成可決）

◎竜王町企業誘致特別措置に関する条例の一部改正

安定した財政運営を進め、住民サービスの低下を招かないためにも、安定した歳入の確保が急務となっている。

よって、安定した税源を確保するため優良な企業が事業を拡大され、町税の増収が図れるよう、指定事業者に対する奨励金の額の上限「5000万円」を「6500万円」に改めるもの。

（賛成多数可決）

補正予算

一般会計

◎平成19年度竜王町一般会計補正予算（第2号）

前回までの予算に、1億9500万円を追加し、歳入歳出それぞれ49億7144万9千円にするもの。

補正予算の主なものは別記のとおり。

委員会の審査

問 竜王中学校第二体育館の解体工事はいつ頃か。

答 危険度が高いため速やかに進める。

平成19年8月補正（一般会計）

（単位：千円）

- (1) 歳入補正の主なもの
- ・町たばこ税..... 60,000
 - ・農村総合整備事業県補助金..... 30,200
 - ・前年度繰越金..... 83,309
 - ・埋蔵文化財発掘調査費雑入..... 6,708

- (2) 歳出補正の主なもの
- ・農村総合整備事業..... 41,330
 - ・企業誘致特別措置奨励金..... 15,000
 - ・竜王中学校第二体育館解体工事店..... 31,500
 - ・埋蔵文化財緊急発掘調査事業..... 8,764
 - ・財政調整基金積立金..... 45,000

特別会計

◎平成19年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）

現在の予算額に3452万円を追加し、歳入歳出それぞれ8億4652万円とするもの。

老人保健医療費概算拠出金の額が決定したことに伴う拠出金の増額によるもの。

◎平成19年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算第1号）医科

職員の異動等に伴う人件費と借金等歳出予算の組み替えを行うもの。

◎平成18年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）
471万3千円増額し、8億1171万3千円に改めるもの。

内容は、消費税還付金の減額、工事費にかかる課税仕入分の決算額が減少したこと等により、消費税及び地方消費税の納税額の増額によるもの。

◎平成19年度竜王町介護保険

特別会計補正予算（第1号）

現在の予算額に2010万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ5億4910万9千円とするもの。

平成18年度の介護保険給付費および地域支援事業費の確定により平成18年度受入れの国庫支出金等に一部返還が生じたので償還金を予算計上したものです。

◎平成19年度下水道事業会計補正予算（第1号）

3条予算 37万7千円増額し、3億637万7千円に改めるもの。

4条予算 収入2720万円を増額し、予定額を1億8220万円に、支出2826万6千円を増額し、予定額を2億4776万8千円とするもの。内容は、薬師配水池測量設計委託料及び公用車更新に伴う車両費の増額によるものです。

※一般会計、特別会計の補正予算はすべて全員賛成可決

水道事業決算認定

◎「平成十八年度竜王町水道事業会計決算認定」

平成十八年度の水道事業は、給水戸数3567戸、給水人口1万2695人、配水量は年間167万7784^mである、県水受水量163万8100^mで、年間有収水量147万9231^mです。経営状況は収益的収支の収益総額は、2億9570万6337円、前年度と比較では174万34

35円の増、費用全体では、2億8070万4397円で、380万9898円の減、差引1500万1940円の黒字決算となり、前年度に比較して555万3333円の増加となった。

これは、修繕費、動力費及び県水未達料等の減、町補助金が350万円増加によるものである。

（賛成多数認定）

◎竜王町議会委員会条例の一部を改正する。

常任委員会の名称、委員定数および所管の変更。
(1)総務産業建設常任委員会 6人

政策推進課、総務課、生活安全課、産業振興課、建設水道課、農業委員会
(2)教育民生常任委員会 6人

住民税務課、福祉課、健康推進課、教育委員会
(全員賛成可決)

◎「山中さくら線・山東谷田野神線」の町道路線の認定

住宅施策推進の取組みの中で、既存の住宅団地内において、住宅建築を促すための基盤整備として、山中地先のさくら団地内の2路線を町道認定するもの。現在79区画の住民が登録されている。

また、町内でも一番若い世代が集まった若者の多い団地となっており、団地内道路及び取付け道路を町道とすることにより

追加議案

工事契約

◎公共下水道竜王北第86（薬師12）工区

管渠工1110m他で工期は平成19年8月31日着手、平成20年2月29日完成。

5754万円で、株式会社ヤマタケ創建と工事契約を締結するもの。
(全員賛成可決)

意見書

り、団地としての完成度を高める事になり、なお一層、若者定住の推進が図られる見込みであると

委員会が出された意見交通安全上危険な所があるので、標識等を設置する事。
(全員賛成認定)

道路整備財源の安定的な確保と地方への配分強化に関する意見書（賛成多数可決）

1. 地方が真に必要な道路整備を計画的に進めるため、地方の道路整備に必要な財源を安定的かつ十分に確保すること。
2. 地方公共団体が遅れている地方道の整備や維持管理を主体的に行なうため、道路特定財源の地方への配分を高めること。
3. 今後の具体的な道路整備の姿を示す中期的な計画の策定に当たっては、納税者の代表でもある地方議会や地方の行政を担っている地方自治体の意見等を十分反映させること。

人事

◎竜王町教育委員会委員の任命について

竹中東太郎氏
竜王町山之上
松瀬忠幸氏
竜王町弓削
(全員賛成同意)

◎竜王町公平委員会の選任について

福田幸子氏
竜王町綾戸
(全員賛成同意)

◎竜王町固定資産評価審査委員会委員の選任について

森嶋治雄氏
竜王町山之上
西村悦男氏
竜王町鶴川
(全員賛成同意)

◎竜王町職員懲戒審査委員会委員の任命について

小西久次氏
竜王町山之上
(全員賛成同意)

収益的収入および
収益的支出の推移表

（単位：円）

		平成18年3月	平成19年3月
収入の部	水道事業収益	293,962,902	295,706,337
	営業収益	275,309,123	271,328,032
	（うち給水収益）	273,062,415	269,035,245
	営業外収益	18,653,779	24,378,305
支出の部	（うち町補助金）	13,500,000	17,000,000
	水道事業費	284,514,295	280,704,397
	営業費用	272,232,228	271,221,237
	営業外費用	12,282,067	9,483,160
当年度純利益		9,448,607	15,001,940

一般質問

8人の議員が18問

8月定例会

- ①職務管理と職員駐車場について……………西 隆 議員
- ②不登校と子どものいじめ問題について……………川嶋 哲也 議員
- ③指定管理者制度対象外施設について……………近藤 重男 議員
- ④一級河川惣四郎川と寒尻川の浚渫などについて……………竹山 兵司 議員
- ⑤新たな医療費負担が始まる！！……………若井 敏子 議員
- ⑥行政改革集中プランの進捗状況は？……………勝見 幸弘 議員
- ⑦住宅施策について……………関司 重夫 議員
- ⑧ドリームプロジェクト竜王について……………山田 義明 議員

一般質問は、8月28日午前と夜間に行なわれ、議員8人から18問の質問がありました。議員1人1問をメインの質問として、その要旨を登壇順に掲載しています。その他の質問は8ページ9ページに掲載しています。

職務管理と職員駐車場について

【答】どちらも改善検討します

西 隆 議員

問 職員駐車場として、公民館、防災センター駐車場が使用されているが出勤時から退庁までの長時間、独占使用している。また施設設置の目的外使用である。

答 職員管理の原則である出勤簿がハンコを押すだけで、登庁、退庁時間が明確でない。危機管理の上からもICカードや、GPSの導入を検討をされたい。

問 職員駐車場については、公民館で文化祭が開かれる時などは防災センター前の空き地を利用しています。現在、職員の車の駐車場として利用しているのは、庁舎は南駐車場の西半分、防災センターは北側の1／3程度、公民館

は南側半分を指定しています。なお公民館の駐車場については、本来、公

民館に來館される方のためのものであり、一部を職員の駐車場として使用していますが今後、公民館駐車場としての機能を重視して、その対応をします。

職員管理については、

地域住民の奉仕者として、信頼を得られるよう努力します。



公民館前の駐車場

不登校と子どものいじめ問題について

【答】いじめ「ゼロ」は4つの取組みから

川嶋 哲也 議員

問 中学生の不登校児が全生徒の35人に1人とのこと。不登校児童・生徒と、子どものいじめの状況について伺う。また、指導、防止対策についての考えも伺う。

【答】「不登校」の小学生が5年ぶりに増加し、中学生は全体の2・89%と過去最高となったと文部科学省が発表しました。県公立小中学校では、1・39%、全国平均1・19%を上回っており、特に、中学校の数値は非常に高く、深刻な状況です。

問 不登校の原因は、「不安などの情緒的混乱」が小学生51・7%、中学生41・1%と高く、「無気力」小学生15%、中学生21・7%、「いじめをのぞ

く他の児童生徒との関係」は小学生8・9%、中学生12・9%となっています。町の現状は、不登校児童生徒は小学校1名、中学校1名で全国・県平均を大きく下回っています。「ゼロ」にするため4つの指示をしています。

- 一、早期発見、家庭訪問の実施。
- 二、学校・園内での役割分担を明確にする。
- 三、不登校生の登校させる手当ての構築。
- 四、子どもに対する観察の充実。

更に、工夫した取組みが行えるよう支援します。



竜小運動会「組体操」

指定管理者制度対象外施設について

【答】「次世代安心対策」に取り組みます 近藤 重男 議員

問 農村総合整備モデル事業によって作られた農村公園や、親と子の草の根広場の管理は各自治区に移管されている。

答 それらに設置されている遊具の維持管理についてはどの自治区も苦慮している。

今定例会で、自ら考え自ら行うまちづくり事業として、遊具の点検補修助成金220万円が計上されている。この事業費はすでに消化している自

治区もあるが、今後各区の遊具の点検補修費について、どのように対応されるのか伺う。

答 各自治区の草の根ひろば及び農村公園に設置されている遊具の管理は町と自治会が管理協定を締結し、実質は自治会で管理をしていただいています。

毎日のように利用する遊具であり、各地で遊具による事故等が発生していることから町としての手立が必要と考えています。

自治会連絡協議会、役員会でもその事が話題となり、遊具の実態調査を実施し、改善への支援を要請いただきました。

自ら考え自ら行う事業は、2年目であり自治会割当額を消化されている自治会もあることから、「次世代安心対策事業」を創設し当初予算の別枠で措置させていただくこととしました。

今後、遊具の管理体制や指導についての新たな道筋が整い安心して子供達が遊べる遊園地となることを考えています。



子ども達が安心して遊べる遊具を

惣四郎川と寒尻川の浚渫などについて

答 危険箇所の実態調査要望します

竹山 兵司 議員

問 惣四郎川と寒尻川に雑草などが繁茂している。川底は土砂で埋まり、増水時には堤防の決壊などの災害が予測される。一日も早い浚渫を望む。対応と対策について伺う。

答 惣四郎川は、竜王町山之上の二番目地先から須恵地先の祖父川へ合流する延長5500mの河川です。

寒尻川は、山之上西山地先から惣四郎川に合流する延長1500mの河川です。共に一級河川で、滋賀県東近江地域振興局建設管理部で管理されています。

惣四郎川は、名神高速道路を境として、下流側は、堆積土砂、雑草等が点在しており、河床の状

況は、浸食により基礎部が表れている箇所も点在しています。
上流部は、河川幅も狭く、河川全体に雑草が生い茂っている状況です。寒尻川については、町

道岡屋山之上線沿いの一部に雑草が繁茂している状況です。
いずれの河川も地元の皆様方の河川愛護作業等により雑草の処理などをしていただいています。土砂の浚渫につきましては、洪水時に河川流水断面を阻害する恐れがあり、河川管理者に対策の申入れをしています。町としては、早急に危険箇所の実態調査を県に要望します。



浚渫工事を一日も早く！！ 寒尻川

新たな医療費負担が始まる！！

答 国民皆保険制度維持のためです

若井 敏子 議員

問 共産党が実施したアンケートでは、医療費負担の軽減を求める声がたくさん寄せられている。来年から実施される後期高齢者医療制度は高齢者に一層の負担を強いるものだが、内容を伺う。町レベルで助成制度を作るのか。不安が広がっているが、国へ要望などしているのか。

答 国民皆保険制度を持続可能なものにしていくため来年よりスタートするものです。

保険料は確定していませんが、年金天引きの特別徴収か、年金年額の少ない人には普通徴収させようとしています。助成制度などを行う検討はしていません。

国に対しては、制度の円滑施行について。町電算システム改修経費の支援拡充。保健事業、葬祭費に係る財政支援他について県広域連合から要望されています。

今後も制度の円滑な施行のため要望します。

問

保険料負担は年7万5千円以上と聞くが、払えない人に短期証明書を発行するようなどはやめてほしい。現役世代も支援金を拠出することになるとのこと。これでは国民皆保険を持続可能なものにするどころか崩壊してしまう。生きる権利もうばわれる。

答

若人の支援金は特定保険料として給料天引きで、健保、国保に拠出されます。

おたっしや教室の様子

行政改革集中プランの進捗状況は？

答 遅れています

勝見 幸弘 議員

問

自律推進計画が集中改革プランに

名前を変えて進行中だが、①遅れている項目は何か、その理由は何か。
②計画が変更になった項目と理由は何か。
③第三セクター統合に対する課題は何か。
④第三セクターへの委託経費は削減されているが、法人として利益を出し、税金を支払い、積立金が存在することの考え方はどのようなものか。一般会計から、指定管理料として支出

答

行政改革集中プランは、平成19年度を目標年次として策定し、取り組んで来ました。

①地域リーダーの育成と地区担当職員の設置について、遊休土地の活用、処分について、第三セクター統合について、管理委員会の設置について等が遅れています。
②集落別まちづくりコンクルの実施、職員数は18年度19年度ともに一名増となっています。民間活力導入についても、医療部門、給食センターともに調査・検討が必要であり見送っています。
③協議中です。
④指定管理者制度による管理は、従前の業務委託と異なり、裁量、努力により、大きな利益を得ることが認められています。減価償却費の考え方も明確にする必要があると思います。働く人の意欲も考えなければと思っています。

住宅施策について（IBM用地）

答 まだ決まっています

関司 重夫 議員

問

童王町は「若者リ」をにかけているが、松陽台地先にある日本IBMの厚生施設の売却はどうなっているか。

答

IBM社の厚生施設は、昭和50年代から野球場、グラウンド、体育館、プール等が順次整備された約5haの施設です。

平成17年の野洲工場撤退表明に伴い、できるだけ早期に売却したいとの意向が同年9月、本町にありました。町としても今後のたくましいまちづくりを進めていく上で、グラウンド等の跡地での住宅開発は有効な手段と考え、滋賀県住宅供給公社の協力を得て、IBM社との交渉を行なっ

ました。

町としては、分譲される住宅が比較的安価であれば若者定住が進むとの考えを示し、できるだけ安価で譲っていただきましたと交渉してきました。

IBM社も、「民間に売

却するよりも公的団体等に売却できるよう考えている。」としていましたが、「あまり安い金額では売却できない。」との会社判断から、現在、交渉は止まっています。

ただ、現在も売却先は決まっていない事から、情報入手に努め今後の状況変化にも対応してまいります。

当該施設の雑草等の管理についても、IBM社に対し適正管理に努めるよう要請しています。



統合が検討されている第3セクター



活用が待たれるIBMグラウンド、野球場

ドリームプロジェクト竜王 について

【答】定期的に相談所を開きます

山田 義明 議員

問 町内の青年にパートナーを仲介し、心豊かな生活の実現を目指すこのプロジェクトは今年どの様になるのか。

結婚される年齢が年々遅くなるがその対策は。アドバイザーの研修費や経費への支援について伺う。

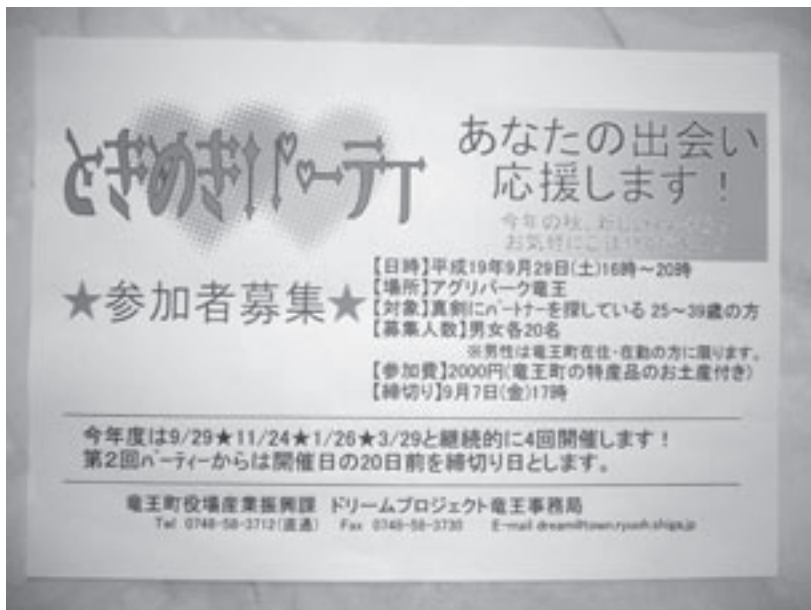
答 プロジェクト一期目はイベント企画を中心に組みました。二期目はイベント前に「男性講座」を実施し、男性の自主性や積極性を養うため、自己紹介やデート類似体験などを実施し、カップル成立後の相談やフォローを積極的に実施しました。

答 期目はイベント企画を中心に組みました。二期目はイベント前に「男性講座」を実施し、男性の自主性や積極性を養うため、自己紹介やデート類似体験などを実施し、カップル成立後の相談やフォローを積極的に実施しました。

本年度はイベント事業

に加え、イベントで成立したカップルへの相談支援と定期的に開設する結

婚相談事業の2つの部会で活動します。また、結婚年齢を早めるため早い段階からの意識付けをする研修会の開催を計画中です。今年度はアドバイザーに対しては相談員としての資質向上と活動促進を図るための研修費用が認められました。



“ときめきパーティ”参加者募集のちらし



こんな質問も しました

問 生活道路である山の上新村地先の惣四郎川橋は日常交通量も多く、対向車輛のすれ違いが出来ない。橋梁の拡幅が望まれる。対応と対策等について伺う。

竹山兵司議員

答 町道山之上西岡屋線は、新村、西山地先の人家連たん区域を通る生活道路としての重要な路線であると認識しています。この道路は、平成13年8月に町道山之上岡屋線が集落の南側を通るまでは、山之上地先から岡屋地先へ、大型車輛も通行していました。バイパス道路も出来ましたが、地域の意見も聞いて、対応します。

問 福島県矢祭町は合併せず自立のまちづくりをすすめている町である。

矢祭は商工会が発行する商品券や買い物すればもらえるポイントを集めれば、公共料金や税金の納付に活用できるため、

町内商店に活気がよみがえったというが、よく調べて、竜王らしくアレンジできないか伺う。

若井敏子議員

答 矢祭的は自立基本条例を制定し、小さくても輝く自立の町づくりを進めておられます。

竜王町も夢カード制度がありますが、経済効果も少なく、町内全域に波及せず、商品券では納税できないなど、課題がありますのでむずかしいけれども検討します。

問 近年の福祉施設で雇用が増えているのではないかと調査したきたい。

インター周辺開発で企業誘致、若者の雇用創出とのイメージがあるが、福祉の充実こそ雇用創出につながるのではないかと

若井敏子議員

答 平成11年と平成18年の比較で、町内7事業所で88名の雇用が199名となり、2.

考えています。



車道と歩道の縁石が低くなっている県道

問 竜王町の場合①一般競争入札か、指名競争入札か。②予定価格公表は、事前が事後か。③最低制限価格の公表は。④指名業者の格付けの公表は。⑤電子入札の実施状況、予定は。

答 竜王町の場合、①指名競争入札で、一般競争入札導入は困難です。②予定価格は事後公表しています。③最低制限価格は未公表です。④格付公表しています。⑤電子入札は考えていません。

勝見幸弘議員

答 通学路の整備のうち歩道の安全性確保に充分な対策を講じます。

保育料は平成19年度に改正しました。子どもが安心して遊べる施設については集落が点在しているため、地域の公民館などを活用し、子育てサロンを充実していきたいと

は、12市2町が一般競争入札、予定価格の事前公表が13市4町です。

問 竜王インターチェンジ周辺の土地活用構想について伺う。

関司重夫議員

答 西武より無償譲渡を受けた16haの土地は、覚書により公共的施設の建設のため使用するとあり、民間活力の導入も視野に入れ、進めていきます。

県有地75haの活用案については、本年7月に山口町長から嘉田知事に対し、県有地は、竜王インターチェンジからのアクセスも数分と非常に立地条件がよいので、竜王町の活性化に資するよう検討していただきたいと要請しています。

問 町が提唱する、活力ある町づくりのため、若者が参加できる議会、兼業でなくとも一定の生活保障がされる議員報酬について伺う。

西 隆議員

答 平成17年1月に審議会を開催、その後は町長より審議会に諮問はいたしておりました。議員の皆様には本年9月まで、前述の条例改正の際に、その付則により議員報酬のカットをしていただいています。しかしながら重要なことであると認識しており、しかるべきときに議論を重ね検討していきます。

問 「(仮称)竜王商業施設開発計画」(竜王町薬師地先)について伺う

川嶋哲也議員

答 平成22年春オーブン予定のアウトレットモールは、①約18haの敷地に、3万3千㎡の店舗で地上2階建ての商業施設です。

②この事業計画では、「環境影響評価書」の提出後、平成20年12月頃にすべての手続きが完了します。③町はインフラ整備を先行投資で進めます。



三重県・長島のアウトレット

問 町内における県道、町道、通学路の改修、町内道路の危険箇所の点検は交通安全からも必要である。どのように取り組んでおられるのか。

近藤重男議員

答 県道、町道集落内道路などは、生

活を支える重要な道路ではありますが、厳しい財政事情により危険な箇所については現地の道路状況を確認しながら危険度の高いところから順次対策を講じています。

雪野山トンネル内の照明灯については、蒲生野歴史街道運営協議会に要望します。

問 竜王小学校の教室の黒板が校舎建設以来のもので、上下移動式への改善を望む。また、西小学校のパソコン教室の窓が開閉出来ない。対策を伺う。

竹山兵司議員

答 竜小は、昭和46年度に建築され、平成元年の大規模改造工事で、既存黒板を塗り替えましたが近隣校は上下可動式の黒板に変わっています。順次改善します。パソコン教室は、コンピュータ機器の放熱や設置場所の関係で高温になっている。学習環境を整える計画を進めます。

総務教育民生常任委員会

委員長 岡山 富男

八月二十三日
やまびこ作業所を訪問しました。

やまびこ作業所は社会福祉法人やまびこ福祉会が運営をしています。昭和61年にやまびこ共同作業所として開所され、平成11年に法人認可を受けられ、鶴川に移転され

ました。平成15年にはグループホームやまびこを開所されています。

やまびこ福祉会は作業所とグループホームと障がい者地域生活支援センター（相談事業）の三事業をされています。作業所の施設運営は利

用料などの収入（支援費）で人件費、事務費、事業費、減価償却費などをまかなっていますが、平成19年度は350万円の赤字が見込まれてい

ます。それは支援費が出勤日数によって日割り計算されることや人件費事務費は無駄を省いても限界があるためですが、平成21年3月までは激変緩和措置があり、なんとか運営できるが、今後のこと

もあるので、利用者を積極的に受け入れていくなど改善策を考えているとのことでした。

利用者個々に見ると、障害者年金を受給している人でも一割の利用料負担と食事代、グループホームの人はその利用料など差し引くと手元には僅かしが残らず、将来自立していくことなどなかなか難しい現状です。自立支援法が出来てす

ぐ激変緩和策が講じられるなど制度の矛盾が露呈しているにもかかわらず、国は改善しようとしていない現実があり、職員として、いたたまれない思いであると感じました。

竜王町議会は障害者自立支援法の緊急対策を求める意見書を昨年9月に採択し、

2. 減免措置の実施
3. 報酬単価の見直し、日額支払いの見直し。
4. 定員要件の緩和
5. 障害福祉分野への予算増額
を求めて意見書を国に送付しています。今後もその改善のため努力しなければならぬところです。お話を伺った後施設内での作業を見学したり、さおり織りの仕事場の見学をしました。

産業建設環境常任委員会

委員長 川嶋 哲也

所管事務調査

8月23日、次の事項について調査した。

一、農村総合整備事業の進捗状況

- ①平成19年度第1回補正後の進捗状況
- ・農道整備 78%
- ・集落道整備 75%
- ・集落排水路整備 66%
- ・防火水槽設置 100%
- ・農業用排水施設整備 25・0%

- ・総事業費で6億6485万5千円の内3億4千万円、51・1%
- ②事業名 平成20年度から、村づくり交付金で対応
- ③平成21年度をもってこの事業は廃止

二、土砂災害防止法に係る区域指定について

町は、山中・岡屋・小口・薬師・山面・鏡区が基礎調査区として県で調



8月30日
「道路整備財源の安定的な確保と地方への配分強化に関する意見書」について、議員提案として提出決定した。

査。

各委員会報告

地域創生まちづくり特別委員会

委員長 勝見 幸弘

8月27日、次の事項について調査活動を行った。

(1)竜王インター周辺の整備について

○西武から譲渡された16haの土地の贈呈式を8月10日に行った。公共・公益性の高い利用が条件だが、計画はこれから検討。○アウトレットは広さ18ha、平成22年完成予定。現在、環境アセス現地調査中、駐車場4000台に対する交通アクセス問題を関係者と協議中。

○小口工業地域には、3社が工事中、うち1社は8月末竣工予定。
○県有地は、民間活用の方で造成工事も含めて県の土地開発公社で検討中とのこと。

問 薬師配水池新設の位置と内容、対象区域は。

答 西武寄贈の土地内で、沈砂池側10haの部分。タンクの容量は1500m³、1600m³、総工費2億円、山中

合併調査特別委員会

委員長 村井 幸夫

8月27日午前9時より委員全員出席のもと、委員会を開催。8月5日、県の東近江振興局主催による自主的な市町の合併推進に関する構想の推進という内容で近江八幡、安土、竜王の意見交換会

問 行事や、行政組合事業など竜王町は東近江市と関連が多い。

近江八幡市とは消防だけ、東近江市を抜いての合併は、考えにくいのではない

答 東近江市の合併で、湖東、愛東が、広域が違うこともあって苦慮されているということも事実です。県が進める1市2町の合併には、住民の皆さんからいろいろ意見がありますが、広

域の問題もその一つです。
問 今の1市2町の枠組みは、県が示したものなので、県に責任を持ってもらわないと困る。東近江地域の中で、話し合いも県の責任ですべきではないか。
答 意見交換はしなくてはならないと思う。県がどのように思っているのかも、聞か

ないといけない。合併については、委員会や議会意見交換をお願いしたい。
問 町長は平成19年度中に方向性を決めたと言われたが、2市7町の問題を町長は、どのように考えているのか。
答 東近江市との合併にこだわらない。

路整備が必要と考えている。
(3)その他
雪国まいたけは、第2期部分の造成工事を9月ぐらいから工事にかかりたいとの事。
自律推進計画の最終年度としての取り組みについては、行財政改革推進



動くか県有地

委員会の管理小委員会を開いて報告し、20年度予算に反映させたいとの報告があった。
問 第3セクター統合の話は進んでいるのか。
答 年度末の統合を目指して協議中とのこと。

町長だけで決めるつもりはない。皆さんの意見を聞きながら、決めていきたい。方向性は議論して示したい。自分の町だけでは決められない。周囲の町のこともある。



議会運営委員会

委員長 寺島 健一

7月11日・30日

議員の任期が満了することから、定例議会を早めるための日程調整をした。八月中に開催することとした。

また議員定数が削減されたことにより、常任委員会の定数など協議した。常任委員会は二つで、各々6人の定数とした。

地方自治法では常任委員会の複数所属が認められていることから、万がいち、議員に欠員が生じた場合は複数所属を適用することにした。

8月10日 第3回定例会に提出される議案について説明を受け、その処理について協議した。

また議会委員会条例の一部改正については、(委員会定数七人を六人にするもの) 議会運営委員会が提案することにした。

8月21日 一般質問について協議。

8月28日 追加議案について説明を受け処理方法を協議。

8月31日 意見書の提出についてまた陳情書の処理について協議した。

また議会委員会条例の一部改正については、(委員会定数七人を六人にするもの) 議会運営委員会が提案することにした。

議会広報特別委員会

委員長 竹山 兵司

議会広報特別委員会は、平成19年第2回定例会閉会後の6月22日、7月3日、7月6日委員会を開催し、議会だよりNo.140号の編集をし、7月15日に発行することができました。

よりNo.141号の編集会議を開催しました。

第13期議員として、9月末をもって任期満了となりますが、閉会後も委員会を開催し、議会だよりを仕上げる予定です。御愛読いただきました町民各位にお礼を申し上げます、次期議員の御活躍を期待します。

また、平成19年第3回定例会開会中の8月21日、8月28日、いずれも委員全員出席のもと、議会だ



2年間に発行した「議会だより」

編集後記

暑い暑いと言っていたが、9月になって急に涼しくなり出した。

そんな頃また暑い暑い闘いが始まった。町議選。竜王町としては久しぶりの、しかも定数削減後の多数乱立選挙だった。

新聞記者が聞いた。「どうしてこんなに出られたのですか」もちろん竜王町に対する熱い思いにちがいない。ともあれ暑い暑い日々は終わった。新しい議員も決まった。新しい議員に期待をこめて、13期議員最後の議会だよりをお届けする。

議会傍聴記

新村 眞野 美代

おける不登校児に対する実態や対策等の意見や教育長、学校教育課の応答、取り組み等でした。

竜王町の未来を担う子ども達が健全でまっすぐにたくましく育つ対策等は我々身近な問題として行政は勿論、住民も真剣に取り組むことが大切ではないでしょうか。

町政の実態を的確に把握する意味でも今回傍聴させていただいたことは意味があったと感じました。

今回町民の選んだ新議員も決まり、町民の生の声を十分聞き取り行政のパイプ役として、おおいに活躍されることを期待しています。

議会広報特別委員会

委員長 竹山 兵司
副委員長 岡司 重夫
委員 川嶋 哲也
勝見 幸弘
村井 幸夫
若井 敏子
西 隆